

第5章 弁室類築造工

第1．弁室類築造工

1. 適用範囲

弁室類のうち、コンクリートブロック及び、レジンコンクリートブロックの弁室の築造、別途製作完成品の据付け及び上床版コンクリートブロックの取付等に適用する。

2. 施工歩掛

(1) 弁室類（コンクリートブロック）築造歩掛

弁室の構造及び型式は、「土木工事共通仕様書」によるものとする。

(10箇所当り)

種 別	単 位	制 水 弁 室						
		φ 200以下	φ 300 浅層埋 設用	φ 300	φ 400・ 500	φ 600以上 バタフライ弁	φ 600～1200 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1350～1500 副弁内臓式 バタフライ弁
		φ 250	φ 250	φ 250	φ 500	φ 600	φ 900	φ 900
		(400kg以下)	(80kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)	(800kg以下)	(1600kg以下)	(4000kg以下)
土木一般世話役	人	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4	1.0	3.8
特殊作業員	〃	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.8
普通作業員	〃	0.1	0.2	0.1	0.1	0.6	1.3	9.0
バックホウ (クレーン機能付)	h	2.6	—	2.6	2.6	3.6	5.7	23.8
基礎砕石費率	%	18	73	18	18	18	18	4
諸雑費率	〃	2	2	2	2	2	2	1

種 別	単 位	空 気 弁 室		消 火 栓 室		排水栓室	洗浄栓室
		急速75～100(人孔無)	急速100(人孔付)	単口・双口 (浅層埋設用)	双 口		
		単口(φ 300以下)	単口(φ 400以上)	単 口		φ 500・φ 600	φ 600
		双口100	双口150				
		φ 600	φ 900				
		(400kg以下)	(2200kg以下)	(400kg以下)	(800kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)
土木一般世話役	人	0.2	1.3	0.2	0.4	0.2	0.2
特殊作業員	〃	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
普通作業員	〃	0.1	1.7	0.1	0.6	0.1	0.1
バックホウ (クレーン機能付)	h	2.6	6.7	2.6	3.6	2.6	2.6
基礎砕石費率	%	18	18	18	18	18	18
諸雑費率	〃	2	2	2	2	2	2

(注) 1. 歩掛は、運転距離30m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床堀、埋戻し、残土処理は含まない。

2. 基礎砕石費率及び諸雑費率は、労務費及びバックホウ運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として、計上する。

なお、基礎砕石費率及び諸雑費率に含まれる内容はつぎのとおりである。

【基礎砕石費率】敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費

【諸雑費率】 敷砂又は敷モルタル材料費

3. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。

4. 基礎砕石費率は、材料の種別・規格に関わらず適用できる。

5. 撤去歩掛は据付歩掛（基礎砕石費率及び諸雑費率は除く）の50%とする。

(2) 弁室類（レジンコンクリートブロック）築造歩掛

弁室の構造及び型式は、「土木工事共通仕様書」によるものとする。

(10箇所当り)

種 別	単 位	制 水 弁 室				
		φ 300以下 浅層埋設用	φ 400・500	φ 600～900 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1000～1200 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1350～1500 副弁内臓式 バタフライ弁
		φ 250	φ 500	φ 900	φ 900	φ 900
		(80kg以下)	(400kg以下)	(1600kg以下)	(1600kg以下)	(4000kg以下)
土 木 一 般 世 話 役	人	0.1	0.2	1.0	1.0	3.8
特 殊 作 業 員	〃	0.1	0.1	0.3	0.3	0.8
普 通 作 業 員	〃	0.2	0.1	1.3	1.3	9.0
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)	h	—	2.6	5.7	5.7	23.8
基 礎 砕 石 費 率	%	73	18	18	18	4
諸 雑 費 率	〃	2	2	2	2	1

種 別	単 位	空 気 弁 室		排水栓室	洗浄栓室
		急速75～100 (人孔無)	急速100 (人孔付)	単口・双口	
		φ 600	φ 900	φ 500 φ 600	φ 600
		(400kg以下)	(2200kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)
土 木 一 般 世 話 役	人	0.2	1.3	0.2	0.2
特 殊 作 業 員	〃	0.1	0.4	0.1	0.1
普 通 作 業 員	〃	0.1	1.7	0.1	0.1
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)	h	2.6	6.7	2.6	2.6
基 礎 砕 石 費 率	%	18	18	18	18
諸 雑 費 率	〃	2	2	2	2

(注) 1. 歩掛は、運転距離30m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床堀、埋戻し、残土処理は含まない。

2. 基礎砕石費率及び諸雑費率は、労務費及びバックホウ運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として、計上する。

なお、基礎砕石費率及び諸雑費率に含まれる内容はつぎのとおりである。

【基礎砕石費率】 敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費

【諸雑費率】 敷砂又は敷モルタル材料費

3. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。

4. 基礎砕石費率は、材料の種別・規格に関わらず適用できる。

5. 撤去歩掛は据付歩掛（基礎砕石費率及び諸雑費率は除く）の50%とする。

(3) ボックス（鉄蓋・ブロック）据付歩掛

(10基当り)

製品質量		50以上 80以下	80を超え 400以下	400を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 4,000以下
名称	単位							
土木一般世話役	人	0.1	0.2	0.4	0.6	1.0	1.3	3.8
特殊作業員	〃	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.8
普通作業員	〃	0.2	0.1	0.6	0.9	1.3	1.7	9.0
バックホウ (クレーン機能付)	h	—	2.6	3.6	4.4	5.7	6.7	23.8

3. 機械運転費

機械名	規格	適用単価表	指定事項（参考）
バックホウ (クレーン機能付)	クローラ型クレーン機能付排出ガス対策型（第1次基準値）山積0.45m ³ (平積0.35m ³)2.9t吊り	機－1	

4. (コンクリート) ボックスの組立標準重量

標準重量表

(単位：kg)

種別	区 分	鉄 蓋	コンクリートブロック				全体重量	適用口径
			調整用	床版	本 体 (中継)	底版		
制 水 弁 室	φ 100mm以下 浅層埋設用	28.0 (250用)	56.0(4)	33.0	—	31.0	148.0	φ 75～ φ 100
	φ 150mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	28.0(2)	33.0	—	31.0	120.0	φ 150
	φ 200mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	28.0(2)	—	—	31.0	87.0	φ 200
	φ 300mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	14.0(1)	—	—	31.0	73.0	φ 300
	φ 75mm～150mm	28.0 (250用)	42.0(3)	33.0	70.0(2)	31.0	204.0	φ 75～ φ 150
	φ 200mm～350mm	28.0 (250用)	42.0(3)	33.0	35.0(1)	31.0	169.0	φ 200～ φ 350
	φ 400～φ 500mm	74.3 (500用)	23.0(1)	51.0	91.0(1)	51.0	290.3	φ 400～ φ 500
	φ 600mm以上のバタフライ弁	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	(斜壁)600×900×450 310.0 (直壁)900×300 167.0	—	661.3	φ 600～ 以上
	φ 600～φ 1200mm 副弁内臓式バタフライ弁	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1200×300 363.0 (直壁)1200×600 598.0	—	1349.0	φ 600～ φ 1200
	φ 1350～φ 1500mm 副弁内臓式バタフライ弁	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1500×600 1180.0 (直壁)1500×900 1410.0	—	2978.0	φ 1350～ φ 500
空 気 弁 室	急速75 φ 400～φ 500mm	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ 400～ φ 500
	急速100 本管 φ 600mm以上 (人孔無)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ 600 以上
	急速100 本管 φ 800mm以上 (人孔付)	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1200×300 363.0 (直壁)1200×900 898.0	—	1649.0	φ 800 以上
	単口 (φ 300mm以下) 及び 双口100使用箇所 (人孔無)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	
	単口 (φ 400mm以下) 及び 双口150使用箇所 (人孔付)	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1200×600 655.0 (直壁)1200×600 598.0	—	1641.0	

(注) 調整用、中継の () 内は数量

(単位：kg)

種別	区 分	鉄 蓋	コンクリートブロック				全体重量	適用口径
			調整用	床版	本 体 (中継)	底版		
消 火 栓 室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用 図 1－17	56.0	84.0(3)		75.0(1)	—	215.0	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm) 浅層埋設用 図 1－18	118.0	37.0(1)		164.0(2)	—	319.0	φ 300
	単口 (φ 150～φ 250mm)	56.0	28.0(1)		150.0(2)	—	234.0	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm～600mm)	118.0	37.0(1)		246.0(3)	—	401.0	φ 300～ φ 600
排 水 栓 室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用	74.3 (500用)	69.0(3)	51.0	—	51.0	245.3	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300) 浅層埋設用	100.3 (600用)	120.0(4)	54.0	—	51.0	325.3	φ 300
	単口 (φ 150～φ 250mm)	74.3 (500用)	23.0(1)	51.0	91.0(1)	51.0	290.3	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm～600mm)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ 300～ φ 600
洗 浄 栓 室	φ 200～φ 300mm 浅層埋設用	100.3 (600用)	120.0(4)	54.0	—	51.0	325.3	φ 200～ φ 300

(注) 調整用、中継の () 内は数量。

図番号は、「土木工事共通仕様書」(弁栓室類標準図集)のものである。

5. (レジンコンクリート) ボックスの組立標準重量

標準重量表

(単位: kg)

種別	区 分	鉄 蓋	レジンコンクリートブロック						全体重量	適用口径
			調整用	上部壁	中部壁	下部壁	上下部壁	底版		
制水弁室	φ 100mm以下 浅層埋設用 図 1-8、図 1-9	14.8 (250用)	19.6(3)	—	—	—	17.3	13.0	64.7	φ 75～ φ 100
	φ 150mm 浅層埋設用 図 1-10	14.8 (250用)	10.6(2)	—	—	—	17.3	13.0	55.7	φ 150
	φ 200mm 浅層埋設用 図 1-11	14.8 (250用)	14.3(2)	—	—	—	11.8	13.0	53.9	φ 200
	φ 300mm 浅層埋設用 図 1-12	14.8 (250用)	14.3(2)	—	—	—	17.3	13.0	59.4	φ 300
	φ 400～φ 500mm 図 1-13	48.9 (500用)	47.7(3)	35.5	—	15.5	—	13.2	160.8	φ 400～ φ 500
	φ 600～φ 900mm 図 1-14 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	212.5(5)	—	(斜壁) 900×1200×300 363.0 (直壁) 1200×600 598.0		—	—	1380	φ 600～ φ 900
	φ 1000～φ 1200mm 図 1-15 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	170.0(4)	—	(斜壁) 900×1200×450 510.0 (直壁) 1200×600 598.0		—	—	1484.5	φ 1000～ φ 1200
	φ 1350～φ 1500mm 図 1-16 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	170.0(4)	—	(斜壁) 900×1500×450 952.0 (直壁) 1500×900 1410.0		—	—	2738.5	φ 1350～ φ 1500
空気弁室	急速75 図 1-18 φ 400～φ 500mm	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	14.5	21.5	—	28.1	212.2	φ 400～ φ 500
	急速100 図 1-18 本管 φ 600mm以上 (人孔無)	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	14.5	21.5	—	28.1	212.2	φ 600 以上
	急速100 図 1-17 本管 φ 800mm以上 (人孔付)	206.5 (900用)	138.1(4)	—	(斜壁) 900×1200×300 363.0 (直壁) 1200×900 898.0		—	—	1605.6	φ 800 以上
排水栓室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用 図 1-19	48.9 (500用)	31.8(2)	35.5	—	15.7	—	23.8	155.7	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300) 浅層埋設用 図 1-20	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	—	21.5	—	28.1	197.7	φ 300
洗浄栓室	φ 200～φ 300mm 浅層埋設用 図 1-21	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	—	22.8	—	15.0	185.9	φ 200～ φ 300

(注) 調整用の () 内は数量。

図番号は、「土木工事共通仕様書」(弁栓室類標準図集) のものである。

<参 考 資 料>

コンクリートブロック (1個当り重量(kg))

	250用	500用	600用	900用
調整用	14.0	23.0	30.0	55.0
床版用	33.0	51.0	54.0	104.0
中継用	35.0	91.0	91.0	
底版用	31.0	51.0	51.0	

	単口	双口
消火栓用かさ上げ60	28.0	37.0
消火栓用	75.0	82.0

下水道用鉄筋製組立マンホール (JSWAS A-11) (1個当り重量(kg))

直壁	重量
900×300	167.0
1200×600	598.0
1200×900	898.0
1500×900	1410.0

斜壁	重量
600×900×450	310.0
900×1200×300	363.0
900×1200×450	510.0
900×1200×600	655.0
900×1500×450	952.0
900×1500×600	1180.0

レジンコンクリートブロック (1個当り重量(kg))

種類		高さ	重量
250 用	上部壁	150	10.7
	中部壁	100	5.0
		200	7.5
		300	10.0
	下部壁	300	11.5
	上下部壁	150	11.8
		300	17.3
	底版	40	13.0
500 用	上部壁	200	35.5
	中部壁	100	11.0
		200	17.0
		300	23.5
	下部壁	200	15.7
		300	22.0
		500	34.0
	底版	40	23.8
600 用	上部壁	200	44.2
	中部壁	100	14.5
		200	23.5
		300	32.5
	下部壁	200	21.5
		300	30.5
		500	47.0
	底版	40	28.1

分割底版型 (1個当り重量(kg))

種類		高さ	重量
500用	下部壁	200	15.5
	底版	40	13.2
600用	下部壁	200	22.8
	底版	40	15.0

調整リング (1個当り重量(kg))

種類	高さ	重量
250用	10mm	0.6
	30mm	1.2
	50mm	5.3
	100mm	9.0
500用	10mm	1.3
	30mm	3.8
	50mm	15.9
600用	10mm	1.5
	30mm	4.5
	50mm	18.7
900用	10mm	3.5
	30mm	10.6
	50mm	42.5